

「政策」をやさしく!?!考えよう

第2回 まつさか若者クラブ

平成29年6月24日（土）

中京大学総合政策学部 今井良幸

政策とは何か？（1）

▶ 政策とは何か？

今回、皆さんに話をするにあたって、改めて「政策」とは何かを自分自身で考えてみても適当な説明がすぐ思いあたらず・・・。

そこで、手元の電子辞書に入っている『明鏡国語辞典 第二版』（大修館書店）で調べてみると、



「**政治上の方針とそれを実行するための手段**」とある。

政策とは何か？ (2)

▶ 政策とは何か？

しかし、「政治」と言われても・・・

(皆さんの心の中をつぶやきを代弁)

もう少し理解しやすいもの？を探すべく、私の研究室に本棚にある「政策」にかかわる書籍を改めて読んでみる。

「政」とは・・・「**方向性を明らかにしてやりくりする**」

「策」とは・・・「**目的を果たすためにとる計画とか方針**」

具体的にはどういうこと？

▶ もっと分かりやすく言ってほしい!!

定義を言われても・・・（再度、皆さんの心の中をつぶやきを代弁）

では、具体的にはどういうこと？

✓ 子育て支援政策

✓ 観光政策

✓ 防災政策

（一般論として）

⇒少子化が進み、今後のまちの存続が危うい

観光客の減少が続き、観光業が衰退

近い将来、地震による大災害が予測される

という課題がある

う～ん、やはり難しい??

▶ つまりは

「政策 = 課題に対する対処策（取組み）」 である

しかし、

- ✓ 実際の政策手法は様々である・・・
 - ⇒補助金を出す、規制をかける、協働により実施する、人的支援を行うなどなど。また、必要に応じ条例を制定したり、計画を策定したり・・・
- ✓ 財源や人員、各種法令の制約がある・・・
- ✓ 議会や住民の理解が必要になる・・・
- ✓ 政策の効果についての事後説明が必要になる・・・

などなど

今回は難しく考える必要はないよ～

▶ 難しいことは職員の方にお任せして

確かに、行政が政策を実施するには、前のスライドに記載のようなことを踏まえる必要がある。

しかし、これらのことが政策を難しいものに思わせる理由なのではないか??

⇒今回はそのあたりのことは少し脇に置いて（職員の方にお任せして）、

若い世代である皆さんならではの発想力で

「こんな松阪市になってほしい」

「こんな取り組みが行われているところなら住んでみたい」

「自分もこんな取り組みに参加してみたい」

という視点で考えてみよう!!

学生の政策提案、取組みの事例（1）

▶ 消防団に関する政策

豊田市における若者の消防団への参加促進政策

⇒中京大学総合政策学部

桑原ゼミの取組み

（もともとは豊田市の行う政策提案事業で採択され、実現したもの）

豊田市の消防団 WE LOVE 消防団

平成28年 11月13日 9:30~16:00

1日体験入団

Let's try "HAPPY SBD"!

伝えたい この魅力

体験内容
規律訓練
水消火体験
救急訓練
など

MAP 会場
豊田市消防本部 豊田市長興寺3-17-1
豊田駅⇨消防本部無料送迎有り
事前申込時期はコチラ
豊田消防員募集中心

参加資格 18歳~29歳までの方
(豊田市内に選挙区住所・在住の方)
(高校生は対象外)
男女問わず募集します! 事前申込必要

参加費 無料
参加員 先着30人
募集期間 2016年9月26(月)~10月16(日)

学生の政策提案、取組みの事例 (2)

▶ 中心市街地活性化の政策

地域社会の現場で学ぶ『宇治☆山田プロジェクト』

Project

多彩な地域活動の中に入り、
地域を、日本を動かす。

地域課題の解決を通して日本を動かす人材を育成するため、現代日本社会学部では「地域社会研究会」を設置。地元商店街の活性化や、まちづくり事業への参加、伊勢の名産を活かした商品開発・販売などを行う『宇治☆山田プロジェクト』や、商店街の空き店舗を利用したサテライト施設で映画上映会を行う「まちなか研究室」、宇治山田駅前に開設した「駅前ちよっとラボ」など、さまざまな活動を展開する。また地域問題に携わる全国的な学生組織「全国まちづくりカレッジ」にも参加し、多彩な視点で地域を動かす仕掛けづくりを行っている。

Move

ビジネスの厳しさに触れ、
実社会に必要なスキルを学ぶ。

本プロジェクトでは、学生が積極的に地域の活動に参加し、その経験を通して地域の人々が何を求めており、自分たちに何ができるかを見つけていく。たとえば商店街のお祭りでは、学生は毎年子ども向けのゲームの企画と運営を担当する。小さなゲーム機でも、学生は子どもが何を求めているかを何度も話し合い、時間をかけて準備をする。しかも毎年の売上で、企画の良し悪しが評価される。ビジネスの世界では、学生だからという言い訳は通用しないのだ。

近年、活動の一環として、伊勢の老舗茶園と共同開発した「宇治山田の和紅

全国まちづくりカレッジに参加の各大学。近隣では、皇学館大学の宇治山田駅前商店街での活動事例

学生の政策提案、取組みの事例 (3)

▶ 農業、観光政策

The screenshot shows a web browser window with the URL gifu-keizai.ac.jp/universityarea/regional_solidarity/local_economy/meister.html. The page content is as follows:

(1) TMN (土まるけネットワーク) プロジェクト…【農業、コミュニティビジネス、まちなか農園】
マイスター倶楽部発足当初より展開している取り組みです。「農業」をテーマに、都市と農村との交流や世代間交流を軸に掘え、コミュニティビジネス事業を展開しています。近年は中心市街地での「農生活」を提案する「まちなかプランター栽培」などを実施し、農業後継者育成のためのきっかけづくりをおこなっています。



自ら農作業 イベントで新鮮野菜を販売

(2) まちなかツーリズムプロジェクト…【地域資源、体験型観光、学生コンシェルジュ】
大垣の「まちなか観光」をテーマに活動しています。2015年度からは、特に「地域観光案内」や「まち歩き」に関する企画をおこなうことを見据えてプロジェクト名を「まちなかツーリズム」に変更しました。地域の事業所と学生とで連携しながら地域資源を生かした企画を展開しています。



美濃古地蔵を使った商品開発 料亭四鳥とのコラボ弁当の開発

(3) ソンニョドフトゥロ プロジェクト…【定住外国人の支援、小学生の学習支援、体験企画の展開】
ソンニョドフトゥロとはポルトガル語で「将来の夢」という意味です。大垣市では、多くの日系外国人が暮らしています。こうした子ども達の多くは成長してから日本で暮らしていくことが考えられ、日本人の子どもと変わらない学習の体制を整えることが必要です。子ども達が学習言語や学力などが原因で夢を諦めることがないよう、学生ができる学習支援をするのが目的です。子ども達に向けて、地域と連携しながら、学生ならではの社会体験企画を実施しています。



学生の政策提案、取組みの事例 (4)

▶ 若者による政策提案

The screenshot displays the website for the Shinshiro City Youth Parliament. At the top, there is a navigation bar with the site name '新城市若者議会' (Shinshiro City Youth Parliament) and the URL 'wakamono-gikai.jp'. A search bar and social media icons are also present. The main content area features a large banner image of a young man in a suit presenting a document to an older man in a grey suit. The banner includes the text 'Shinshiro City Youth Parliament News!!' and navigation arrows. Below the banner are 'Home' and 'Contact' buttons. A news article is displayed with the following details:

- Date: 2017-04-14
- Author: 第2期若者議会 広報PRチーム (新城勝舞隊)
- Title: 若者議会シンポジウム報告(後編)
- Text: 皆様、こんにちは！若者議会市外委員・広報PRチームの中谷裕次(チユン)です。4月にも入り、少しずつ温かくなってきましたね！28年度の任期も3月に終了し、この記事の執筆が市外委員として、最後の仕事となります。先週末は、TEDxTohokuUniversityでも登壇し、若者議会には触れてませんが、若者議会にも繋がる内容をスピーチしてきました。(参照HP: https://...)
- Link: (続きを読む)

On the right side, there are two promotional boxes: '若者議会メンバー紹介' (Youth Parliament Member Introduction) and 'ポスターデザイン公開中!' (Poster Design Open for Publicity!). At the bottom right, there is a 'What's 若者議会?' (What's Youth Parliament?) section.

学生の政策提案、取組みの事例（5）

▶ コンペ形式での政策提案→協働、委託形式での事業実施

Home > Living, Safety, Environment > Life in Kanagawa > Citizens' Voice > University Policy Proposal System > University Policy Proposal System Heisei 28 Fiscal Year Proposal Overview

大学発・政策提案制度 平成28年度採択提案の概要

提案者	提案の名称	事業の概要
田園調布学園大学	「神奈川県子ども合衆国」を実現するための制度構築	<ul style="list-style-type: none">子ども達が労働体験・納税体験・街づくり体験を行うことができる活動（キッズタウン）を神奈川県全域に普及させるための運営マニュアル、予約システムの開発運営事務局、運営を支援するボランティアグループの立ち上げ
【最優秀提案】 東海大学	ICTを活用した防災訓練・防災マップ作成による若年層への防災教育	<ul style="list-style-type: none">Twitterを用いた防災情報共有システムを活用した防災訓練の実施スマートフォン向けデジタル防災マップ作成アプリを利用したワークショップの実施若年層向け防災教育パンフレットの作成・配布
東京都市大学	【Love Doboku KANAGAWA】県内土木施設を紹介するWEBサイトの構築とSNSによる情報発信、およびこれを基盤とするインフラツーリズムの展開	<ul style="list-style-type: none">県内土木施設を紹介するWEBサイトの開設、SNSによる広報と支援県内インフラツーリズムのプラットフォームの構築とイベントの実施

(提案受付順)

▶ [大学発・政策提案制度のホームページへ戻る](#)

神奈川県
このページの所管所属は [政策局 政策部 総合政策課](#) です。

神奈川県 大学発・政策提案制度の事例（同様の取組が奈良県でもあり）

中、高校生の政策提案、取り組みの事例

▶ 中、高校生の政策提案

新城市若者議会 | 大学発・政策提案制度 平易 | 第5回GOOD郡上プロジェクト

gujo-siminkyodo.org/まちづくりフェスティバル-good郡上プロジェクト/第8回-まちフェス2016-h28/第%EF%BC%95回good郡上プロジェクト2016-h28

GOOD郡上プロジェクト提案募集

GOOD郡上プロジェクト応募開始

【対象者】
郡上市在住の中学生・高校生の個人またはグループ

【テーマ内容】
みんなで考え、みんなで作る郡上～ずっと郡上、もっと郡上～

今回の提案募集は郡上市のこれからの10年間のまちづくり計画である「第2次郡上市総合計画」を題材に提案を募集いたします。

テーマも「第2次総合計画」の基本理念と同じ「みんなで考え、みんなで作る郡上～ずっと郡上、もっと郡上～」いたしました。

第2次総合計画の中では、この先の郡上市の目指す将来像(住みたいまち郡上・働きたいまち郡上・訪ねたいまち郡上)に向けて、郡上市の抱える4つの重点プロジェクトが上げられています。

①産業・雇用 ②定住・移住・交流
③子ども子育て・教育 ④地域支え合い

生徒の皆様には郡上市総合計画の基本理念でもありGood郡上プロジェクトのテーマである「みんなで考え、みんなで作る郡上～ずっと郡上、もっと郡上～」の思いを基に、郡上市の将来像に向けて、重点プロジェクト4項目の中から課題を鑑み、提案を練っていただきたいと思っております。

課題は難しく感じられるかもしれませんが、学生ならではのユニークな視点やアイデアが郡上市の未来を輝かせていくと思っています。生徒の皆様考えたプロジェクトを多くの方に知っていただき、実現していく絶好のチャンスとなることと思っております。

【応募方法】
応募用紙に提案を記入し各学校を通じて提出

※応募用紙は協働センターホームページよりダウンロードできます
※応募用紙に取らなければ追加記述可能、必要であれば図や資料も添付可能

応募締め切り
各学校で生徒の提案を取りまとめ提出
選考会(日程未定)
市民協働センター選考委員により書類審査
【選考基準】
①課題の必要性 (地域課題を的確にとらえているか、誰もが共感できる内容か)
②調査・検討性 (課題に対する調査・検討が充分なされているか)
③実現可能性 (実現のための想定がなされているか・実現可能か)
審査結果発表
・協働センターより各学校へ結果連絡
・各学校より入賞者へ通知
・入賞者には賞状と副賞として図書券2,000円分進呈
・入賞者には「まちづくりフェスティバル」にて提案の発表を行っていただきます

郡上市 GOOD郡上プロジェクトの事例 (中高生鮎とも釣り選手権、ゆかたdayなどの実現事例あり)

とにかく考えてみて、意見を出してみる

▶ 意見を出してみないと始まらない

「住みたい、住み続けたい」と思うまちにするために何が必要か？（募集チラシ参照）

⇒1人1人が考えることは異なるはず
松阪へのかかわり方も人それぞれ

唯一の答えはない（答えを探す必要はない）



多様な意見を出し合う中で、よりよい形が見えてくる
とにかく、恥ずかしがらずに意見を出してみよう!!

将来の松阪市（あるいは自分の住んでいるまち）を変える一歩のために